

大阪天満宮駅(JR東西線)①

大阪天満宮から淀殿が眠る太融寺へ

南森町駅(地下鉄堺筋線・谷町線) 東梅田駅(地下鉄谷町線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.061

JR大阪天満宮駅

①大阪天満宮

菅原道真が左遷される以前に参詣した大將軍社に、左遷後にさまざまな異常事が発生し、村上天皇が道真の靈魂をなだめるために建設した神社といわれています。鯉が龍になるという伝説を表した「登竜門」があります。近くに上方落語の常打ち寄席・天満天神繁盛亭があり、川端康成が生まれた場所もあります。

②天神橋筋商店街

1丁目から8丁目まで3キロ近い日本一長い商店街です。

③成正寺・大塩平八郎父子の墓

成正寺には大塩平八郎・格之助父子の墓があります。大坂東町奉行所の与力を退職した大塩平八郎は、天保の大飢饉(1833~39)で飢死にする庶民を救おうとして、米を買ひ占める豪商やそれに加担する役人に反乱を起こしました。天保7年(1863)2月の大塩の乱です。わずか1日で鎮圧されましたが、幕府役人であった者の決起に幕府は動揺し、その後の幕末動乱の時代が始まります。反逆者・大塩平八郎の墓の建立は長く許されませんでした。明治30年(1897)になって弟子の手で建てられました。

④堀川戎神社

ミナミの今宮戎とともにキタの堀川戎が商売繁盛の神様として大阪の人々に親しまれてきました。1月10日の十日戎は大勢の人々で賑わいます。

⑤龍王大神

樹齢300余年のイチヨウの大樹に白蛇が棲むとい伝えられ、そのたたりを恐れるせいか、いまでも道路の真ん中に祠が建っています。



⑥太融寺(淀殿の墓)

嵯峨天皇の勅願で弘法大師によって開基されたといわれています。紫式部『源氏物語』の主人公・光源氏のモデルとされる源融が寺の中興の祖で、その名が寺名になったとされています。大坂夏の陣で散った淀殿の墓があります。これは弁財天島(現・

大阪城公園)の淀姫神社から明治になって移転されたものです。淀殿は浅井三姉妹の長女で、本名は浅井茶々。父・浅井長政は信長に攻められて自害し、母・お市(信長の妹)は三姉妹を連れて柴田勝家と再婚するも秀吉に敗れて自害。茶々は秀吉の側室に。鶴松(3歳で夭折)を産んで秀吉から淀城を与えられ、淀殿と呼ばれるようになります。やがて秀頼をもうけ、秀吉の死後には豊臣家の実権を握りました。しかし慶長20年(1591)、大坂夏の陣で家康に敗れ、秀頼とともに自害しました。



地下鉄東梅田駅

